

12. 地域住民による主体的な取組(コミュニティガーデンの事例)

第14回都市計画制度小委員会
ケーススタディ 参考資料

- ・コミュニティガーデンは、地域住民の自主的な活動により維持管理されるオープンスペース。1970年代の米国において、荒廃した空き地を住民グループが環境整備したのがはじまり。

【米国のコミュニティガーデン事例】

名称	場所	開始者	経緯	土地所有者	資金等
マッキントッシュストリートガーデン	ニューヨーク市	近隣住民	空き地を片付けている住民を見て、他の住民も加わった	市	寄付、街区会、自助地域助成金等
パルチックストリートガーデン	ニューヨーク市	住民グループ	街区からゴミを一掃するために、住民有志グループにより結成	市	財団、住宅開発局
ハイランドパーク400サヴァイヴァルガーデン	ボストン市	住民活動家	貧しく、食料品店から遠い地域の高齢者を組織するためにコミュニティガーデンを利用	ボストン自然地域基金	コミュニティ開発一括補助金

出典:小野佐和子「1970年代から80年代初めのアメリカのコミュニティガーデン運動」1996

- ・我が国におけるコミュニティガーデンは自治体主導の取組が多いが、地域住民による主体的な取組事例も見られる。

●きせつのこみち グリーンガーデン

＜都市計画道路予定地の維持管理＞

運営主体:宮前コミュニティガーデン実行委員会
(川崎市)



- ・長年放置され不法投棄などが頻発し、地域でも疎遠されていた、都市計画道路予定地約640m²が対象
- ・瓦礫やゴミを片付け、周辺のマンション建設の際に出た残土を運び入れて土壌改良を行った後、地域企業や行政から提供を受けた資材や廃材、間伐材等を使って整備

出典:宮前コミュニティガーデンHP

●今宿コミュニティガーデン

＜残土置き場であった市有地の維持管理＞

運営主体:今宿コミュニティガーデン友の会(横浜市)



- ・横浜市旭区との協働でまちづくりの検討・実践を行う「まちづくりサロン」において、市有地をコミュニティガーデンとして活用する提案がなされ、区にも受理された。
- ・管理運営委員を一般公募、役員・規約などを決めた後、「今宿コミュニティガーデン友の会」が発足。

出典: 今宿コミュニティガーデン友の会HP

●花と緑のまち三鷹創造協会

＜提供公園の維持管理＞

運営主体:NPO法人 花と緑のまち三鷹創造協会
(三鷹市)



- ・開発事業などにより三鷹市が提供を受けた小規模な緑地や公園が対象(現在は3ヶ所)
- ・運営主体であるNPO法人は、緑の保全や緑化推進活動等を担う人材の育成事業、緑の市民活動等に関わる相談・コンサルティング事業等の活動を行っている。

出典: 花と緑のまち三鷹創造協会HP